



ACTIVITY REPORT 2025



WONDER ART

MESSAGE FROM REPRESENTATIVE

ご挨拶



高橋雅子

NPO法人ワンダーアート代表理事

2025年度は、これから先のことを考え、これまで続けてきた活動のいくつか区切りをつけ、ひとつずつ、締めくくっていった1年でした。

メンバーが増えた『Wonder Workers』のバックアップ体制を整え、地域の様々な要請に応え、新たな展開も生んでいくためには、何かを割愛する必要がある...。と考えてのことでした。

こうして、
全国と世界の病院をつないできた『Happy Doll Project』は20年間の豊かな活動を、万感の思いで締めくくりました。

不登校や被災、発達障がい児者を自然体験とアート活動で育む『森のアート海のゲイジツ』は、25年間の多彩な活動を、鮮やかな思い出のアルバムとして纏めました。

ボーダレスな創り場、『Wonder Art Studio』は10年間のワイルドで刺激的な創作コミュニケーションを経て、新たなスタイルへと生まれ変わらせることにしました。

そして
今後のWONDER ARTがどのように移り変わっていくのか？ 楽しみに見守っていただき、伴走いただければ幸いです。

生き生きと楽しくも、障害物競走のように多難なWONDER ARTをこれまでもこれからも、支えてくださる皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

2025年度もありがとうございました。
2026年度もどうかよろしくお願い申し上げます。

心からの感謝をこめて



EXHIBITION

アフリカのワンダーアート展



大阪のみんぱく（国立民族学博物館）にも展示された高橋のアフリカコレクションを仙台で初公開しました。西アフリカのアートラジオや看板、大胆なデザインのプリント生地、マネキンや棺桶など、生活に根付いたカラフルな造形から、南アフリカの社会問題をアートの力で解決に導く”MONKEYBIZ”まで、ユニークなアートが展示されました。

開催日：2025年8月21日～10月1日
会 場：ワンダーアートギャラリー



WONDER ART STUDIO

ワンダーアートのスタジオ

障がいのある子ども、大人のアトリエを84回開催し、延べ338人が参加しました。2016年にスタジオを開設し、公開プログラムや親子のアトリエを経て2018年からクラス形式に。オープンから10年を迎え、当時から通う子どもたちは驚くほど成長しました。それぞれ次なるステージへ向かう時期を迎えたことから、2026年度からはクラスを設けず、自由アトリエのスタイルで土日にオープンします。（金曜日の大人クラスは継続します。）



助 成：一般財団法人日本児童教育振興財団 公益財団法人小林製薬青い鳥財団

森のアート海のゲイジューツ



国内外のアーティストをゲストに迎え、2002年から毎年実施してきた自然とアートをリンクさせた子どもたちのプログラム。2011年以降は東北3県の子どものリフレッシュキャンプに発展しました。2022年から発達障がいのある子どもたちを対象を絞り、3年計画で宿泊を伴うプログラムを実施。フィナーレを迎える2025年は宮城県と福島県の子どもたちが参加し、家族と離れる経験を経て、それぞれに大きな成長を遂げました。

開催日：2025年8月1日～3日 国立花山青少年自然の家
8月15日～17日 国立磐梯青少年交流の家
後 援：宮城県教育委員会 福島県教育委員会
助 成：社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団



WONDER WORKERS

ワンダーワーカーズ

アートの仕事場（就労継続支援B型事業所）は開設から5年目を迎えました。メンバーは18名となり、一層賑やかさが増してきました。制作した作品は定期的にスタジオのギャラリーで展示し、宮城県主催の展覧会でも紹介されました。地域のお祭り（七夕やハロウィン）への参加や病院の子どもたちに贈る手芸キットの準備やクリスマスカードの封入でも、メンバーたちが大活躍しました。





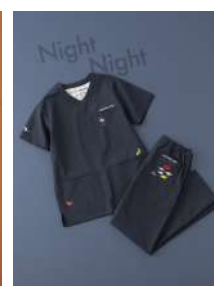
ART & ART WEEK 入賞!

宮城県主催の公募展『ART & ART WEEK』でWonder Workersの清宮玲さん、A-chan、細川隆之介さん、大和田紳介さんが入賞しました。優秀賞の川井智子さんは応募作品以外の作品も招聘展示。大和田紳介さんは、前年度に宮城県の取り組みで採用された作品の原画が展示紹介されました。枠におさまらない部門ではKANAさんが入賞。ライブパフォーマンスには荒川知子さんが登場し、多くの観客の前でパフォーマンスを披露しました。



企業のユニフォームに!

Wonder Workersの細川隆之介さんが描いた作品が、三恵商事のユニフォームになりました。宮城県の事業の一環で、三恵商事の歴史を物語る社屋の絵が、従業員の方が着用するユニフォームにデザインされました。



3者コラボレーション!

クラシコ株式会社との第3弾コラボレーション。極寒の旭山動物園へ視察の旅から始まり、アーティストが描いた生き活きた旭山の動物たちがスクラブ、キーホルダー、トランプ、ノベルティグッズのデザインになりました。作品が起用されたのは、Wonder Workersの大和田紳介さん、大和田滉介さん、細川隆之介さん、Wonder Art Studioの有我樹くん、佐々木慶幸くん、武藤永くんの6名。クラシコの横浜店や名古屋店の店舗で展示された原画やプリントした白衣も、大きな注目を集めました。

大学病院に展示

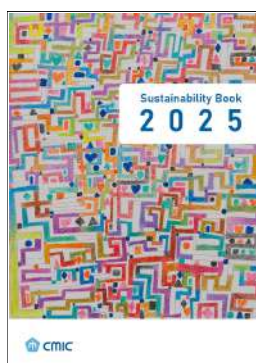
東北大学病院の特別室に飾る絵画として、Wonder Workersの細川隆之介さん、Wonder Art Studioの加藤かれんさんの作品が収められました。



写真提供: 東北大学病院

企業広報誌の表紙に!

Wonder Workersの清宮玲さんの作品が、シミックホールディングス株式会社の広報誌の表紙に起用されました。昨年度の堀江望海くんに続き、2人目の採用。企業のWEBサイトで公開されています。



ワークカタログ完成!



Wonder Workersのワークカタログがリニューアル! コラボレーション例を紹介し、作品の新たな可能性を提示するカタログになりました。

助成: 公益財団法人あすなろ福祉財団



HOPITAL ART

ホスピタルアート

CHRISTMAS CARD PROJECT

クリスマスカードプロジェクト

入院する子どもたちの応援活動として2003年にスタートした〈クリスマスカードプロジェクト〉。3,519枚のカードが集まり、全国46病院にお届けしました。メッセージライティングには、毎年楽しみに待っている全国のボランティアさんが参加。企業のみなさんはオフィスで、地域の大学や専門学校の学生さん、地域サポーターのみなさんはスタジオでカードを作成しました。全国6校の支援学校では、院内学級に通う子どもたちが参加しました。

コーポレートパートナー：ジョーンズ ラングラサル株式会社

モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社

プロジェクトサポーター：花王株式会社 ハートポケット倶楽部（花王株式会社） Okta Japan 株式会社 シーズン時計株式会社 リオテントジャパン株式会社

タニウム合同会社 Databricks Pinterest Japan （※院内学級のメッセージライティング 助成：公益財団法人小林製薬青い鳥財団）



【カード贈呈先病院】 国立病院機構北海道医療センター 札幌あゆみの園 弘前大学医学部附属病院 国立病院機構盛岡医療センター 国立病院機構岩手病院 国立病院機構釜石病院 国立病院機構花巻病院 東北大学病院 国立病院機構宮城病院 宮城県立こども病院 国立病院機構仙台西多賀病院 仙台市立病院 秋田大学医学部附属病院 国立病院機構山形病院 山形こども医療療育センター 山形大学医学部附属病院 国立病院機構神奈川病院 新潟県立がんセンター 国立病院機構さいがた医療センター 国立病院機構富山病院 金沢医科大学病院 長野県立こども病院 国立病院機構東名古屋病院 国立病院機構三重病院 和歌山県立医科大学附属病院 鳥取県立総合療育センター 国立病院機構福岡病院 国立病院機構福岡池田病院 熊本大学病院 大分こども病院 国立病院機構琉球病院 国立病院機構南九州病院（以下支援学校の院内学級） 岩手県立盛岡青松支援学校 宮城県立西多賀支援学校 長野県若槻支援学校 愛知県立大府特別支援学校 三重県かがやき特別支援学校 沖縄県立森川特別支援学校

【メッセージライティング参加者】 ジョーンズラングラサル株式会社 モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社 花王株式会社 花王ハートポケット倶楽部 Okta Japan株式会社 ギャップジャパン株式会社 シーズン時計株式会社 リオテントジャパン株式会社 タニウム合同会社 Databricks Pinterest Japan 仙台市立病院 岩手県立盛岡青松支援学校 宮城県立西多賀支援学校 長野県若槻支援学校 愛知県立大府特別支援学校 三重県かがやき特別支援学校 沖縄県立森川特別支援学校 長命ヶ丘児童センター 東宮城野マيسクール児童館 放課後等デイサービスClover 鶴ヶ谷東マيسクール児童館 金剛沢児童館 希望の家児童館 沖縄尚学高等学校附属中学校 第一学院高校立川キャンパス 都立多摩科学技術高等学校美術イラスト部 日本国際学園大学キヤスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校 東北大学 東北学院大学 ユースPASSO グッドライフパートナー宮崎 東京ボランティア・市民活動センター Wonder Workersの仲間たち ほか全国の皆さん

HAPPY DOLL PROJECT

ハッピードールプロジェクト

2006年にスタートした〈ハッピードールプロジェクト〉は20年目を迎えました。417人分の手芸キットを準備し、参加希望のあった全国11病院へ配布。病棟やプレイルームで願いをこめて作られた愛おしい作品たちは、”ペーパーミュージアム”に集結し、参加者全員で共有し、作品を楽しみました。

(オンライン)

2025年6月27日 国立国際医療研究センター
(対面プログラム)

8月8日 東京大学医学部附属病院

8月20日 宮城県立こども病院

11月5日 弘前大学医学部附属病院

(リモートプログラム)

東北大学病院

山形大学医学部附属病院

自治医科大学とちぎ子ども医療センター

千葉大学医学部附属病院

神奈川県立こども医療センター

川崎医科大学附属病院

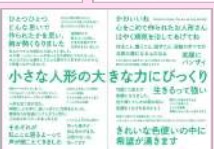
倉敷中央病院



助成：公益財団法人小林製薬青い鳥財団

パーツ製作協力：モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社

20TH ANNIVERSARY BOOK



病院や被災地、世界を巡り、命を向き合う人たちをつないできたハッピードールプロジェクト。これまで600回を超える活動を重ねてきました。20年の節目を迎え、記録集を制作。どんな思いで、どんな方法で道を切り開いてきたのか。これまでの挑戦が未来で役立てられることを願い、写真、言葉、関係者のメッセージを収録しました。



SPECIAL NEEDS

スペシャルニーズ

HAPPY PAINTING PROJECT

宮城県立聴覚支援学校



東日本大震災の応援活動で訪れて以降、毎年リクエストをいただいている聴覚支援学校。就学前の早期支援クラスの幼児と家族を対象に、コミュニケーションにつながるアートプログラムをお届けしました。手足を絵の具でいっぱいにして色で遊ぶうちに、表情がみるみる開いていきました。

開催日：2025年7月4日

助 成：大東建託グループみらい基金 シチズン時計株式会社



HAPPY ART PROJECT

ハッピーアートプロジェクト

2009年から取り組む重症心身障がいの人々を対象としたプログラムは、岩手・宮城・新潟・愛知で実施しました。みんなでデイルームに集まり、ご家族も一緒に賑やかに。病室のベッドサイドで一人ずつ。患者さんの状態に合わせてさまざまなスタイルで行いました。初めての試みとして、感情を測定する機器も導入。五感に働きかけながら、心地よい感覚を探りました。

2025年6月11日 国立病院機構東名古屋病院
(オンライン)

9月2日 国立病院機構宮城病院

9月3日 国立病院機構宮城病院

2026年1月21日 国立病院機構西多賀病院

2月18日 国立病院機構釜石病院

2月25日 国立病院機構さいがた医療センター

助 成：公益財団法人テルモ生命科学振興財団



CHRISTMAS PRESENT

企業から寄贈いただいた生活用品をラッピングし
クリスマスに病院にプレゼントしました。

〈お届け先〉 国立病院機構盛岡医療センター 国立病院機構宮城病院
東北大学病院 国立国際医療センター



協 賛：株式会社ディック・ブルーナ・ジャパン

ARTS FOR HOPE

東北応援活動

HAPPY AUTUMN 2025

岩手県大船渡市



気仙地域の子どもたちを対象に継続してきた季節のアートプログラム。東北応援活動〈ARTS for HOPE〉の車両を寄贈したご縁で、越喜来にある《潮目》が会場となりました。震災後のまちにコミュニティが必要だと、片山和一良さんと地域のこどもたちが瓦礫を集めて築き上げてきた基地。外壁やベンチやシーソーをカラフルにペイントし、ベニヤに描いた絵も打ち付けられ、施設に新たな命が吹き込まれました。

開催日：2025年10月13日

会 場：震災伝承・コミュニティ施設《潮目》

後 援：大船渡市教育委員会 陸前高田市教育委員会

助 成：大東建託グループみらい基金 シチズン時計株式会社

HAPPY DOLL PROJECT

宮城県石巻市



震災直後に訪れ、ARTS for HOPEの大切な活動地域の一つとなった石巻。避難所と仮設住宅の活動を経て、復興住宅で初めて活動したのが2015年の新立野住宅でした。以来、度々訪れては住民のみなさんとの交流を温めてきました。高齢化も進み、11年の間に大きな変化もありましたが、再会を喜び、みなさんの変わらぬ笑顔に出会えたかけがえないひと時でした。これまでを振り返るスライドショーを上映し、思い出を語り合いました。

開催日：2026年3月6日

会 場：新立野復興住宅

助 成：大東建託グループみらい基金 シチズン時計株式会社

COMMUNITY ACTIVITIES

地域における活動



東北学院大学で〈福祉のまちづくり〉を学ぶゼミ学生のみなさんが見学に来ました。ギャラリーで作品を鑑賞し、Wonder Workersのメンバーと交流しました。



コミュニティFM〈RADIO3〉の防災イベントに参加。高橋がラジオ出演したほか、Wonder Workersのメンバーと出店し、3.11は黙祷を捧げました。



荒町セタまつりに参加。スタジオのメンバーとリサイクル素材でつくった飾りで「アラマチマン（荒町のご当地キャラ）」賞を受賞しました。



防犯を目的とした商店街主催の〈あらまちハロウィン〉に参加。仮装した子どもたちがスタジオに続々とやって来て、400人以上にお菓子を配りました。



東北大学の医学系大学院生のみなさんがスタジオ見学に。病院の子どもたちに贈るクリスマスカード作りに参加しました。



日本国際学園大学のエアライン科と英語科の学生さんたちが、ホスピタリティ実習の一環で病院に贈るクリスマスカードを作成しました。



ご近所にある小規模多機能型居宅介護ノテ五橋のみなさんがスタジオ見学にいらっしゃいました。ギャラリーで開催中だった『アフリカ展』も鑑賞。

販売会 WAWAWA MARKET
2025/6/13～6/20、10/17～10/26
12/12～12/21、2026/2/2～2/14

出店 6/26 ふれあいフェスティバル @宮城県庁
8/7 荒町商店街セタ祭り @毘沙門天
10/4 荒町市民センター・児童館フェスティバル
10/4-10/5 Fujisakiday @八木山動物園
12/3 ふれあいフェスティバル @宮城県庁

LECTURE

講演/実習/調査協力など

ミンナシテマザール



開催日：2025年6月21日
会 場：荒町市民センター
主 催：仙台市教育委員会

障がいのある人もない人もみんなで楽しみ、共に学ぶことを目的とした仙台市の取り組み。アートの回の開催にあたり、高橋に講師依頼がありました。参加者は年代もボーダレス。さまざまな画材を使い、夢中に制作する姿が見られました。

キッズボランティア講座



開催日：2025年10月5日
会 場：多賀城市市民活動サポートセンター
主 催：多賀城市市民活動サポートセンター

子どもたちのボランティア学習を目的とした講座に高橋が招かれ、ワンダーアートの取り組み紹介と「ハッピードール」のワークショップを行いました。アートには心や環境を変えていく力がある。子どもたちにメッセージを送りました。



日本国際学園大学

エアライン科と英語科の学生さんたちが、2日間に亘りスタジオでホスピタリティ実習を行いました。高橋のライフワークであるホスピタルアートを紹介しました。



社会教育調査

文部科学省の委託により、東北大学が行う社会教育主事講習。仙台市の教職員のみなさんが取り組む「障がいがある人の就労と学習の現状と課題」調査に協力しました。

MEDIA

メディア掲載・出演

新聞／河北新報「わわわ！アートな作品 障害ある作家 初の定期市」（2025.6.17）
新聞／河北新報「入院の子にもXマス」（2025.8.4）
新聞／あさひかわ新聞「クラシコ×ワンダーアート 医療用ユニフォーム発売」（2025.9.2）
新聞／河北新報「遊び心満載 アフリカアート」（2025.9.11）
新聞／河北ウィークリーせんだい「アフリカの珍しい雑貨紹介」（2025.9.18）
雑誌／国立民族学博物館『月刊みんぱく』推しコレ図鑑（2025.11）
広報誌／東京ボランティア・市民活動センター『ネットワーク』思い立ったがバラ日（2025.12）
書籍／梶原千恵著（水曜社）『災害伝承とアートプロジェクト』高橋インタビュー（2026.2）
ラジオ／RADIO3《はいらいん若林》高橋インタビュー（2025.12.6）
ラジオ／RADIO3 30周年記念番組《この街とラジオ》高橋インタビュー（2026.2.20）

SUPPORTER

サポーター

〈助成〉

公益財団法人小林製薬青い鳥財団
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団
大東建託グループみらい基金
公益財団法人テルモ生命科学振興財団
一般財団法人日本児童教育振興財団
公益財団法人あすなろ福祉財団

〈協賛〉

ジョーンズラングラサル株式会社
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社
花王株式会社
ハートポケット倶楽部（花王株式会社）
Okta Japan 株式会社
シチズン時計株式会社
リオティントジャパン株式会社
タニウム合同会社
Databricks
Pinterest Japan

〈会員・寄附／法人・団体〉

NPO法人小江戸大江戸トレニックワールド
シチズン時計株式会社
株式会社フルタウン
株式会社イーネット
株式会社第一製版
ART 4 LIFE プロジェクト（武蔵野美術大学芸術文化学科）
大内さん家の子供を守る会
OSUSO株式会社

〈会員・寄附／個人〉

佐藤保雄 田中長子 澤田克己 石毛慎也 石毛恭子 石毛隆史
石毛珠美 石毛啓介 石毛純子 佐藤仁志 柳田誠二 守栄一
富田あつ子 高橋康子 坪井利枝 工藤裕恵 関根さゝ 本田容子
大方智子 植松健 白髪宏司 丹治武志 前沢明枝 明石伸子
池田忠利 高橋悦子 北川衆一 金子史絵 林美沙子 松元美紀子
堺武男 中道主悦 滝井真智子 村山令奈 三浦潤 河津あつ子
小嶋一利 宮里かをり 笠木恵子 西方郁子 明石伸子 M.O
渡邊恭子 梶谷陽子 野崎春子 阿部千恵美 高野好真 穴戸登美子
宮里喜久子 柳井琴子 池上浩子 伊吹広子 下瀬川佐洋子
長尾浩二（カットショップション） 坂井健二 石坂真智子
泉谷則子 古家貴代美 Rin Takahashi Takuya Kishimoto
Junichiro Onuki Yuki Matsuura 清宮恵美 室橋勝彦 細川正彦
谷村恭代 荒川健秀 菅原理恵 成田聡子 白出麻美 武藤幸裕理
阿部順子 齋藤めぐみ 富川浩行 穴戸伸博 伊藤政文 有我さおり
山田智浩 永沼紀幸 伊藤いづみ 遠藤加奈子 佐藤真恵子
志賀亜希子 チャウドリー青空 津森晴翔 佐々木明子 西脇志保
矢部千秋 小石澤ひろみ 篠原光慶 櫻井北土 村上祐太 久住佑紀
堀江洋史 早坂友恵 加藤かれん 菅野祐介 増子裕来

〈物品寄附〉

株式会社ディック・ブルーナ・ジャパン クラシコ株式会社
株式会社シーズ ヴォーグ学園 渡邊恭子 鈴木美紀 阿部理香子
吉田知子 佐藤美紀 瀬山由規子 堀江洋史 荒川幸子



宮城県仙台市若林区荒町172 第一旭ビル
TEL 022-724-7255 FAX 022-724-7285
npowonderart@gmail.com
<https://www.wonderart.info/>